

フォームを利用して日報の集計業務を自動化

令和4年度実施

(ITツールの比較・導入・検証)

【会社概要】

十和田燐寸軸木株式会社

所在地：青森県十和田市伝法寺平窪 7 8 - 1

従業員：42名

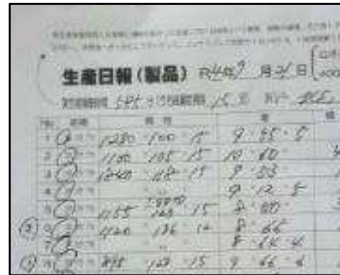
主な業務：木材パレット用及び木枠梱包用の板材角材製材・製紙用
バイオマス発電用の木材チップの製造等

URL：https://towadamatti.co.jp/



【取組時の状況】

- ◆ 6か所ある製造ラインにそれぞれ紙の日報を配布し、ラインごとに手書きで生産等を記入していた。
- ◆ 提出された日報を手作業で集計していた。



【課題】

- ◆ 手作業の集計が多く、他の業務を圧迫している。
- ◆ 紙の日報が大量にあり、書類の整理に手間が掛かっている。
- ◆ 生産量等をリアルタイムで把握できない。

【専門家の支援内容】

- ◆ 日報について、デジタル化により簡略化できる作業を洗い出した。

1. 発注・製品決定・打ち合わせ
2. 手書きで手配書を作成
3. 各ラインに配布
4. 製造
5. 製造終了
6. 紙の集計日報作成
7. 現場へ行って状況確認
8. 紙を回収
9. ライン毎の紙をデータ化
10. データ集計する
11. 集計結果確認
12. 集計結果を紙で印刷
13. 現場に貼る
14. 関係者に共有



1. 発注・製品決定・打ち合わせ
2. 製品マスタ登録(フォームに反映)
3. 製造
4. 製造終了
5. フォーム送信(送信結果から自動で集計)
6. メール通知で状況確認
7. WEBで集計結果確認
8. URLで関係者に共有

【専門家の支援内容】

- ◆ 日報の①フォーム作成、②データの集計、③蓄積までを行うモデルを作成した。
- ◆ 試験を通じた検証と改善を実施した。
(指導専門家：株式会社ビーコーズ 村岡 将利 氏)

【成果】

- ◆ Googleフォームを使用してスマートフォンやタブレットで生産量等の報告が可能となった。
- ◆ Googleスプレッドシートにより集計作業を自動化した。



【今後の展望】

- ◆ 作成したモデルの現場への本格導入をしたい。
- ◆ 今回のデジタル化で得たノウハウをもとに、他の業務のデジタル化を推進したい。
- ◆ 成功事例を積み重ね、社内のデジタル化を促進したい。